

生まれ変わる 星が丘キャンパス

愛知淑徳大学の長久手キャンパスが位置している長久手町で万国博覧会が開かれる2005年は、愛知淑徳学園の記念すべき学園創立100周年です。この100周年記念行事で最も大がかりな事業は、星が丘キャンパスのリニューアルです。この記念事業は昨年12月に着工し、2004年1月に竣工予定の大学新校舎の建築からスタートして、中学・高等学校の新校舎は2006年7月の竣工を予定とした4年がかりの大事業となります。



高等学校・中学校新校舎
(2006年竣工予定)

大学新校舎

大学と中高の ゾーンの 明確な分離

星が丘キャンパスのリニューアルは、基本的に、大学部門と中学・高等学校部門を明確に分離します。大学のゾーンでは、大学院の開設と共に、昼夜の授業開講、さらにエクステンションセンターを中心とした社会人教育の場となり、様々な人が昼夜別なく集う学びの場となるでしょう。

一方、中学・高等学校のゾーンは、中等教育機関として万全のセキュリティを整えます。その中で生徒が伸び伸びと個性を育みつつも、基本的な規律を守ることの大切さを教育する場となります。

大学ゾーンの計画

現在、星が丘キャンパスの位置する星が丘地区帯は、大きく変わろうとしています。公団住宅を始め、

相次いで大規模マンションや商業施設が建築され、大幅な人口増加も予想されています。

このような星が丘帯の大きな変貌と軌を二にして、星が丘キャンパスは21世紀の愛知淑徳大学の教育の場として、大学の理念「違いを共に生きる」を表現したキャンパスに生まれ変わります。

具体的には、国籍や年齢、性別を問わず、さらに健常者も障害を持つ人も共に学べる場として、全てのゾーンをバリアフリー、歩車分離、分煙化を徹底します。

新校舎の建築と併行して実施される既存校舎の講義室を始め諸施設の改修、エレベーター、歩道の設置などによって、大学ゾーンの全エリアのバリアフリー、歩車分離、分煙化の工事になります。

新校舎の建築

新校舎は鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階、地上6回建てで、総延面積14120㎡(4278坪)となります。前面の道路から進むとエスカレーターが校舎へと通じます。

地下1、2階は主として機械室、倉庫などの施設となります。

1階には教学・管理・進路支援など学生のための事務室、入試広報課、社会人教育の窓口となるエクス

ステンションセンターなどの施設が入ります。

2階は学長室、会議室、大講義室などのほかに、医療福祉学部の研究室・実習室や、エクスステンション教室などの施設があります。

3階は二階講義室、医療福祉学部の実験実習室の諸施設です。

4階は図書館と学生の交流ラウンジ兼食堂とテラスがあります。

5階は講義室、演習室、研究室の諸施設があります。

6階は教員用研究室、大学院文化創造研究科の院生自習室、共同研究室などの諸施設です。

この見晴らしのよい敷地に位置した新校舎は、完成すると32mの高さとなつてそびえ立ち、星が丘キャンパスのシンボルとなります。

既存校舎の改修計画

新校舎の竣工に併せて、中央棟の5階の大規模な情報技術教育のためのコンピュータ関連の諸実習室の整備、新館の諸実験実習室やエレベーター取り付けなどの整備のための改修工事が行われ、洗面所、トイレも全面改修されます。

さらにバリアフリー化として、各校舎はゆるやかな歩道で結ばれ、途中にはオープンスペースも設けられま

す。これに併せて歩車分離化として歩行者と車両の併行走行はできる限り避けて、分離するための立体交差などの配慮なども行います。

このように既存校舎の大規模な改修を実施して、星が丘キャンパスは長久手キャンパスに続いて、新しい教育環境キャンパスとして生まれ変わります。



新校舎を西側から見たところ。建物右側が正面

新校舎の階別施設図

6階	教員研究室、院生室、共同研究室
5階	講義室、演習室、教員研究室
4階	図書館
3階	講義室、演習室
2階	大講義室、非常勤講師室、会議室、理事長室、研究科長室、学部長室
1階	事務室(教学課、管理課、進路支援センター)、書庫、印刷室
地下1・2階	閉架書庫、機械室、電気室、倉庫

6階	交流ラウンジ(兼食堂)
4階	図書館
3階	福祉貢献学科特別教室(介護実習室、解剖学・生理学実習室等)
2階	医療貢献学科特別教室(補聴器室、視能矯正暗室、聴力検査室、言語聴覚障害学多目的実習室等)
1階	エクステンションセンター、企画部、エントランス



中央棟5階のコンピュータ実習室



校舎間を結ぶゆるやかなスロープと階段

図書館

新校舎4階に設けられる、東向きで見晴らしのよい図書館。情報検索コーナー、ブラウジングスペースのほか、電光掲示による書架情報も提供します



交流ラウンジ(兼食堂)のテラス

新校舎4階。交流ラウンジ(兼食堂)とテラスがフラットで連結しています。眺望にすぐれ、星が丘周辺や東山タワー、遠く名古屋駅方面まで望むことができます



オープンスペース

キャンパスと各施設を結ぶ連絡通路の一角に設けられ、学生のためのさまざまなアクティビティとして開放されます。学園祭のときはステージにも利用される、イベントの中心広場です

エントランス

新校舎1階。外部空間と一体的にデザインされたロビー的な空間で、事務局のカウンターや広報コーナーなどが設けられます



大講義室

映像や音響設備の充実はもちろん、車椅子利用者にも配慮したバリアフリー設計です

表紙：正門を入ると、新校舎が迎えてくれます。校舎内へのアプローチとしてだけでなく、植栽と各所に設けられたテラスにより、憩いの空間となります。高低差に配慮してエスカレーターを設けると共に、車椅子利用者や体の不自由な方のためにエレベーターも併設されます